

バンド厚み調節

本機ではバンド厚みに対する調整が可能です。

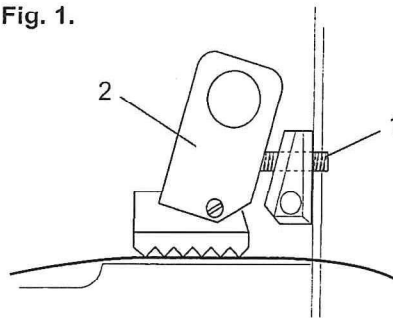
ご使用になるバンドにより、引締め時にバンドが滑る場合は 別途、六角レンチ(2.5mm)をご用意の上
以下手順に従ってバンド厚み調整を行って下さい。

手順

本機にバンドをセットし引締めを行います。そのままの状態部品 No.4 セットビス (Fig.1-1) を
部品 No.13 クランプフレーム (Fig.1-2) にあたるまで廻します。

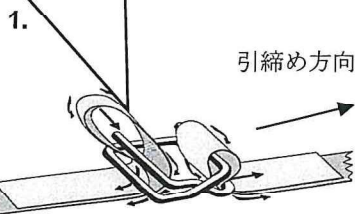
もし引締め時にバンドが滑る場合、部品 No.4 セットビスを 1/4-1/2 回転 反時計方向にまわし
緩めてください。

Fig. 1.



操作方法

締め機から見て、バックルの角が
右側に向く様に置き、手前側の角を
通るバンドを巻取り引締めます。



バンド・バックルのセット

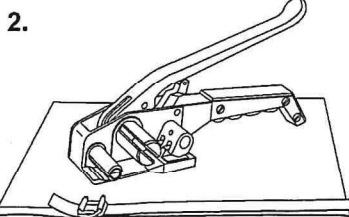
バンドを梱包物に廻し、左図の様にバックルにバンドを
セットします。

その際、引締め作業が行いやすい位置にバックルをセットして
下さい。

！注意！

バックルには向きがあります。ご注意ください。

バックルは底面が常に直線になる位置にセットします。



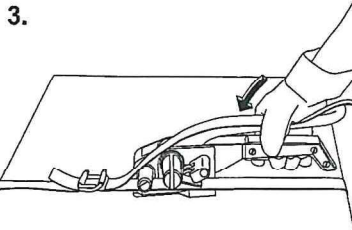
仮締め

手でたるんだベルト（バックルの角が右側に向く様に置き、手前
側の角を通るベルト）を引締めます。

左手で下側のベルトをしっかりと手で押さえ固定し、
右手で上側のベルトを引き締めます。

締め機のセット

バンド押さえ板が上がり切るまで右手で引締めレバーと本体をしっかりと握り、そのままの状態ですべてベースとバンド押さえ板の間に下側のバンドをまっすぐになる様挿入し挟みます。握っていた右手を放すことにより締め機がバンドに固定されます。



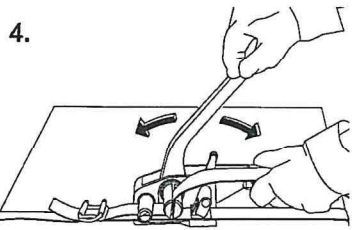
！注意！

バックルと締め機の間には十分な距離をおいて下さい。
締め機を外すには 5cm 以上の距離が必要です。

バンド引締め

上側のバンドを、カッターを通し巻取り軸に通します。一括でカットを行わない場合はバンドをカッターに通さず巻取り軸に通します。

左手でバンドと一緒に本体ハンドルをしっかりと押さえ、バンド引締めを終えるまで、引締めレバーを前後に動かします。



！注意！

引締めレバーを下げるとカッターが作動し、カッターを通るバンドは切断されます。

増し締めを行うには、バックルからカッター位置までのバンド長さを 50cm 位残して下さい。

バンドの切断および本体の取り外し

右手で引き締めレバーが完全に下がるまでしっかりと握ります。

(カッターにバンドを通してある場合、この時点でバンドが切断されます。)

引締めレバーと本体をしっかりと握った状態で本体後方を右側にずらしバンドより本機をはずします。

